

陳 情 文 書 表

(交通局)

受 理 番 号	1 9 0 4	受 理 年 月 日	令 和 6 年 4 月 22 日
件 名	西京区の市バス運賃値上げ及び路線変更、減便の見直し		
要 旨	<p>そもそも一部を除き西京区・洛西地域を運行する市バス運賃は、いまだに均一運賃ではなく割増運賃で、差別化が常態化している。この間、京都中心部等で均一運賃が拡大されてきたにもかかわらず、今回、京阪京都交通バス運賃の値上げを機に、京都市は便乗して、西京区・洛西地域のバス運賃の値上げ（10円～30円）と市バス路線の変更及び減便を住民に何ら説明もなく6月1日に実施することを決めた。このバス運賃の値上げ、系統の路線変更及び減便は公共交通での移動に支障を来し、利用者に料金負担を強制するものであり、反対をする。</p> <p>昨年、京都市は洛西ニュータウンタウンミーティングを4回開催し、洛西地域住民から交通環境を改善する意見や要望を聴いてきた。一方で京都市は、京都市公共交通会議「洛西ニュータウン会議」を開催してきた。同会議においても西京区自治連合会会長をはじめ、洛西ニュータウン3学区自治連合会及び竹の里地域3自治会の意見・要望（書面提出）を取り上げてきた。今回の洛西地域における市バス運賃の値上げ、路線変更、減便について、洛西地域住民の声は完全に無視された。</p> <p>松井孝治市長は選挙公約で、利用者の減少や担い手不足により厳しい状況にあるバス路線を維持するための支援制度を創設し、地域の市民の足を徹底的に守りますと明言した。さらに、市バス運賃の値上げはないとも言及した。市長は国との強いパイプを市長選挙で強調し、市民に訴えた。市長は、国に対して地方の公共交通の厳しい現状を訴えて補助金を要請する必要がある。市民、西京区・洛西周辺住民は少なくとも公共交通の環境整備を期待して投票行動をした。</p> <p>洛西ニュータウンでは、洛西“SAIKO”プロジェクトの推進で、一気呵成にあらゆる壁を取り払い、規制緩和の計画を進めている。バス優先を移動手段とし、かねてからの住民要望の、鉄軌道導入には一言も触れていない。京都市の公約違反である。6月1日のバス運賃値上げ、路線変更、減便について、京都市は住民に説明責任があり、公聴会の開催が必要である。</p> <p>については、京阪京都交通バスの値上げに便乗する西京区の市バス運賃値上げ及び一方的な系統路線変更、減便の見直しを願う。</p>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	産 業 交 通 水 道 委 員 会		